

## 合宿を終えて

八月の青海は、朝夕、秋の気配を感じるほど、快適であった。しかし、昼間は、なお暑く、アブにつまといわれ、例年の如き有様であった。

今回の合宿は、Wanderungを中心に、マイコミ平周辺部の、我々がまだ足を踏み入れていなかった地域への踏査において、大きな成果があったといえる。

洞窟技研の内部で、問題になっていた「どこまで青海をやるか」、即ち、どの範囲で、ひとくぎり付けるかは、昨年「滝谷カルスト全域」という点で意見の一致を見ている。その調査の重要な部分を、今合宿で、やった訳である。

過去九年間、続けられてきた青海洞窟群調査も、今、ほとんど完成したと言える。今回の第10次調査を以て、終ることになった。

報告書は、4里洞以後五年間に得られた成果をもとに、滝谷カルスト尾根という、特異な地形で特徴させるマイコミ平の洞窟・ドリネの研究が中心になると思われる。

今合宿が、事故のため延期されたにもかかわらず、実行され、成果が得られました事については、O.B.諸氏、及び関係各位の御尽力のあればこそと思ひ、ここに、心から、感謝します。

(CL 記)

### 主な成果

1. 滝谷新洞 (滝谷第1, 2, 3, 4 洞)
2. 滝谷尾根、及び マイコミ平周辺部の踏査、
3. マイコミ平における水準測量。

## 行動記録

8月19日

15:00 準備完了して、大阪駅に集合。  
23:10 「立山3号」にて出発

8月20日

7:00 糸魚川駅 到着。朝食。食糧購入。  
9:10 町役場のジープに乗車。  
町役場で、渡辺氏と会う。  
青海駅で、食糧、装備(1斗カン12本)積み込む。  
マイコミ平へむかう。

10:30 マイコミ平入口(浄土内下)まで約1kmのところで土砂崩れで林道不通。残念。  
下車。積んだ荷物をすべておろす。

11:00 ~ 13:30  
ダブルボッカ。B.C. 設置。

13:30 ~ 休息

アブ、極めて少ない。夜、寒い。マムシ・ヘビの類、多い。

8月21日

8:30 出発 南沢 遊歩。  
ブッシュ。

10:30 滝谷南尾根の洞窟(滝谷第1洞)へ、到着。

昼食

11:30 入洞開始  
撮影。測量。

16:30 出洞。

18:00 帰幕

滝谷第1洞、一深度100m、下に行くほど、土砂多し、岩面に粘土付着。  
夜、羽アリの大群がテントを襲う。

8月22日

8:15 出発

洞窟、ドリーネ写真撮影

(銀鳳洞、4里洞、白董洞、奴奈洞)

11:15 帰幕

12:00 ハ木 B.C.着

13:15 滝谷サ3洞(通称-石けり洞)への

ルート偵察。

途中、豪雨にあい、退却。

15:40 帰幕

銀鳳洞、白董洞は、変化なし。4里洞は、洞外の雪裏あたくなし、ドリーネの虫取り筆取。奴奈洞は、土石、流木で洞口、みとめられず。

8月23日

一日中、雨が、はげしく降る。池淵

テント場近くの沢、満水。新マイコミ前にプール。大マイコミの方へ、流水。

8月24日

8:30 出発

滝谷サ3洞(石けり洞)発見。

深さ5mで細くなり、断念。

(杉江、田中、大嶋、西口)

奴奈洞、新マイコミ、4里洞の水準測量。

(ハ木、大嶋)

12:30 帰幕、昼食

午後、豪雨

池淵

夕方、渡辺氏 来られる。杉江、帰阪。

8月25日

8:30 出発

滝谷踏査。サ4洞、通天洞等。

15:30 帰幕

8月26日

8:30 出発。南沢 溯行。途中より尾根に入る。

滝谷サ2洞発見。撮影。測量。

(田中、大嶋)

穴見山 偵察

(ハ木、西口)

15:40 帰幕

夜、雨

8月27日

8:30 出発

奴奈洞より、銀鳳洞へ、水準測量。

(ハ木、西口)

奴奈洞の北の沢より、北西部踏査。

(田中、大嶋)

奴奈洞、以北の沢には、全く、石灰岩はみられず。ドリーネ、洞窟も、全く無い。沢は、かなり長い。上部、巾広い尾根。

14:30 帰幕

夕方、雨

8月28日

9:30 出発

新マイコミの北西部踏査。

北西部の尾根づたいに、南尾根の方へ

(田中、大嶋)

沢ぞいに、南尾根の方へ登り、浄土門前の沢まで下る。

(ハ木、西口)

途中、新マイコミの直ぐ上部の尾根で、熊に出会い、逃走。

15:30 帰幕、撤収開始

16:15 下山 出発

17:15 トネルを越えたと3で、マイロバス便乗。

18:20 糸魚川駅 到着。

解散。

(C.L.記)